

会社	会社名	川崎重工業株式会社		
概要	従業員数	16,362人	業種	輸送用機器

1. ねらい

当社ではダイバーシティ推進を重要な経営課題ととらえ様々な取組を行っています。中でも働き方についてはワークライフバランスの観点、生産性向上の観点、長時間労働削減の観点から見直しが必要であり、ワークとライフの相乗効果による企業価値向上を目指しています。また、介護や育児のような時間制約のある人の仕事との両立についても支援しています。

2. 施策内容

(1) 働き方・休み方改革

<制度面>

- ・毎週1回以上の定時退場日の設定
- ・連続2日+1日の計画年休を労使協定化（ゆうゆう連休・記念日休暇）
- ・恒常的に長時間残業をしている職場を“長時間残業指定職場”として指定。

該当部門長は長時間労働削減に向けた『労働時間改善計画書』を作成し、職場改善を実施する。

<活動>

- ・2016年度より働き方改革活動を推進。
経営トップメッセージ発信や、既に活動を先行している一部部門の活動成果の展開、管理職層への啓発セミナー、タイムマネジメントの徹底、勤務制度・評価制度の見直しなどを実施予定。
- ・毎年1回、社外有識者による役員向けダイバーシティ講演会を開催。

(2) 仕事と介護の両立支援

<制度面>

- ・それぞれ最大3年間取得可能な介護休業制度および短時間勤務制度
- ・介護のためのフレックスタイム制度
- ・要介護者1人につき年5日の介護休暇制度
- ・介護を理由とした失効年休積立休暇の使用（最大60日間、時間単位使用可能）

<啓発活動>

- ・従業員向け仕事と介護の両立セミナーを開催し、社内の両立支援制度の紹介と外部講師（介護福祉士）による講演（両立の仕方・心構え・介護保険の説明）を実施。
- ・イントラネット上のダイバーシティ推進サイトにおいて社内外の介護関連制度について情報提供。

<ダイバーシティ
シンボルマーク>



3. 取組実績・効果

取組みを強化して間もないこともあり、現時点で効果は計測しにくいですが、今後も職場の課題把握や従業員のニーズ集約に努め、全ての従業員が各々求めるワーク・ライフ・バランスを実現できるよう、働き方改革や人事制度の見直しに取り組んでいきます。